

SS-520 5号機の打上げに係る 地上安全計画の過去号機との比較概要

平成29年9月

国立研究開発法人
宇宙科学研究開発機構

説明者
JAXA
S&MA 総括 小林亮二

目次

1. SS-520 5号機の打上げ概要

1.1 機体・ミッションの過去号機との比較

1.2 地上安全関連組織

2. 地上安全計画の過去号機との比較概要

2.1 ロケット等に搭載の主な保安物の比較

2.2 打上げ時の陸上警戒区域

1. SS-520 5号機の打上げ概要

1.1 機体・ミッションの過去号機との比較

SS-520 4号機の主要諸元と、SS-520 5号機との比較を以下に示す。

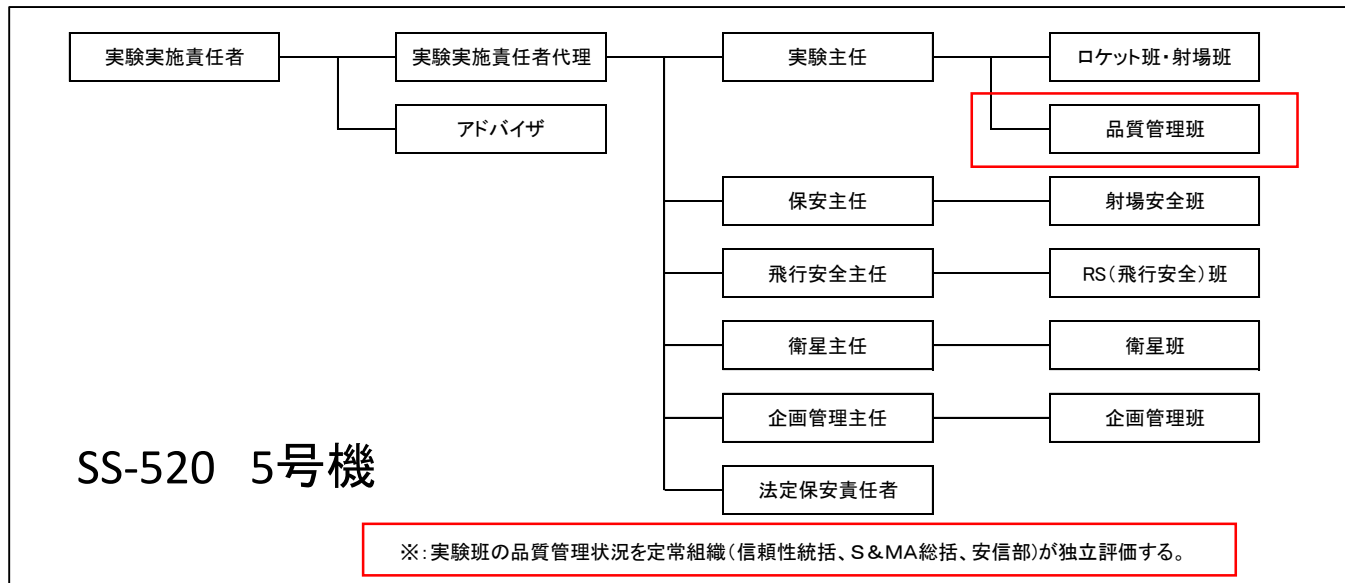
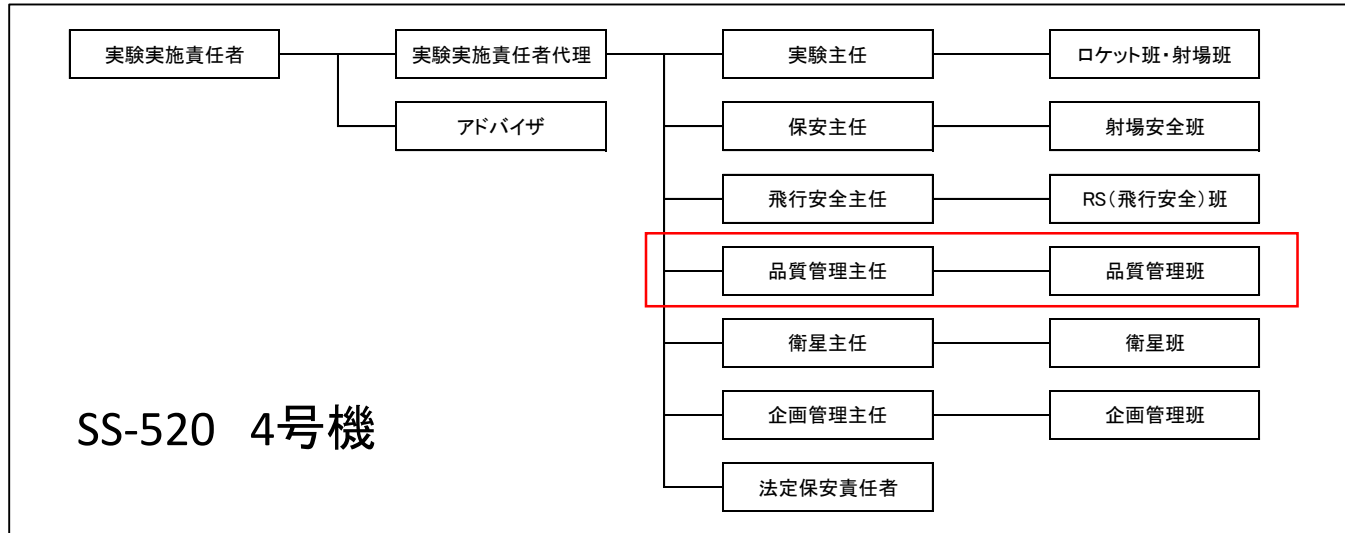
項目	SS-520 4号機	SS-520 5号機
機体形態	SS-520(3段式)	(4号機に同じ)
軌道投入	長楕円軌道 近地点高度 180 km 遠地点高度 1500 km 軌道傾斜角 31度	(4号機に同じ) (4号機に同じ) (4号機に同じ) (4号機に同じ)
ペイロード	TRICOM-1	TRICOM-1R
安全解析対象期間	12月～1月	12月～2月



SS-520 5号機

1.2 地上安全関連組織

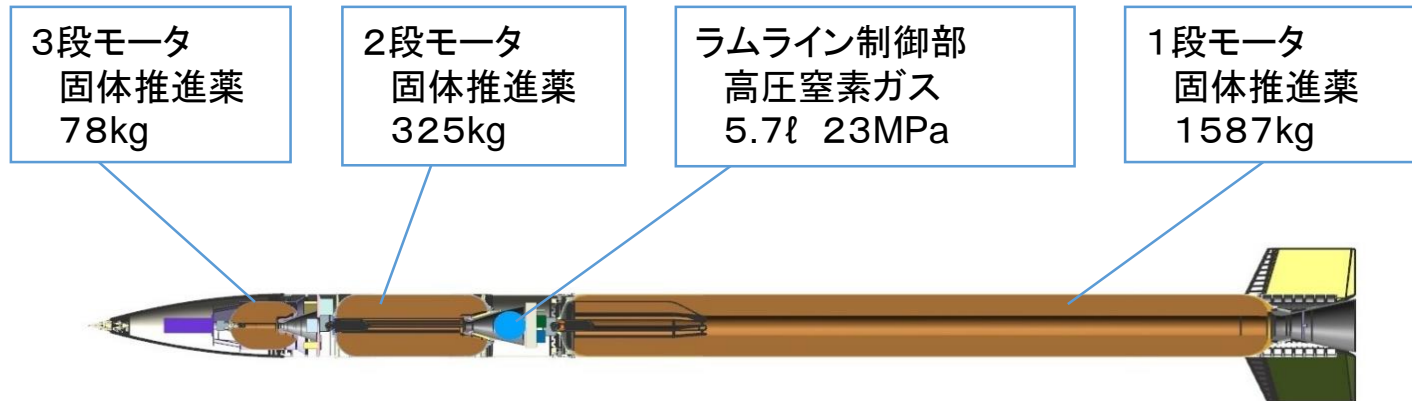
7/1のJAXA内組織変更を受け、定常組織(信頼性統括、S&MA総括、安全・信頼性推進部)が、実験班から独立して、実験班の品質管理を評価する体制を変更



2. 地上安全計画の過去号機との比較概要

2.1 ロケット等に搭載の主な保安物の比較

SS-520 4号機とSS-520 5号機に搭載する保安物は同じ



2.2 打上げ時の陸上警戒区域

SS-520 4号機とSS-520 5号機の陸上警戒区域は同じ

